政策シート (政策名) 効率的な道路・河川管理

(予算費目名) 道路保全費

(総合計画体系)

「分野」 安全 安心 快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

安全で安心して生活できるよう道路や河川が適正に管理され、災害のない都市を実現する。

◇政策のコスト(千円)	H27	H28
予算	9,564,489	8,347,526
決算	9,101,511	
人件費(A)	128,860	187,200
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	9,230,371	8,534,726

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
道路愛護団体の参加数	団体		目標	60	60
	四件		実績	61	
道路区域線図整備延長	km		目標	6,643	7030
	km		実績	6,643	
放置自転車撤去数	台		目標	3,000	3,000
			実績	3,000	

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

安全で安心して生活できるよう道路や河川が適正に管理され、災害のない都市を実現する。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<u> <進捗></u>	<u>計画通り</u>

へみ等字母のもみに字抜せて声楽 「黔

◇政	◇政策実現のために実施する事業一覧 											
	事業名	総合戦	重点	主要事業	完	コスト	事業費			,I		報酬
	事未石	戦略	戦略	事業	了	(千円)	(千円)	正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	(千円)
1	道路施設管理事業											
2	道路管理事業			0		319,241	270,841	6.0	1.0		1.0	
3	道路維持修繕事業			0		6,343,020	6,333,220	1.0			1.0	
4	道路防災事業					694,600	684,000	1.0	1.0			
5	橋りょう耐震補強事業		0	0		928,000	907,000	3.0				
6	過疎対策道路修繕事業			0		87,000	80,000	1.0				
7	自転車等対策事業			0		85,296	50,296	5.0				
8	地籍調査事業			0		77,569	22,169	7.0	1.0		1.0	
9	道路保全運営経費(一般諸経 費のみ)											
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
	計					8,534,726	8,347,526	24.0	3.0		3.0	

 平成28年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (作成日)

 03 04 01 01 02320000 01
 道路保全課
 森下 和市郎 平成 28 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 道路施設管理事業

◇事業目的•事業対象

道路や道路付属物、地下道等、道路施設の管理を行い、安全で安心な通行を確保する。

◇事業の概要

道路、地下道、トンネル等の道路施設の管理を行い、通行の安全性、快適性を確保する。

・照明灯電気料、水道料等・電気及び防災に係る設備保守点検業務委託、清掃業務委託

【JR浜松駅前広場等維持管理】 担当課:南土木整備事務所

浜松駅及び駅周辺施設利用者にとって快適な空間を保ち、浜松市の玄関口としてふさわしい環境を整える。 (業務委託内容)

- 1 浜松駅周辺の浜松駅北口広場、浜松駅南口広場、アクアモール、カリヨン並び東地区のサンクンガーデン、国道152号地下横断道、東1号線の維持管理及び保全に関すること。
 - 2 浜松駅北口広場地下道広告板等の維持管理及び貸付け並びに貸付料の徴収に関すること。

【鉄道駅自由通路維持管理】 担当課:南土木整備事務所

舞阪駅及び遠州鉄道駅の自由通路施設利用者にとって快適な空間を保ち、安全かつ円滑な通行を確保する。 (業務委託内容)

巡回点検、清掃及びエレベータ等の保守点検。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
S57	_	一般会計	法定受託事務	道路法	_	_	_

◇事業のコスト			H27	H28
事業費(千月	ш)	予算		
尹未貝(丁[1)	決算		
		国・県支出		
		市債		
		その他		
		一般財源		
		一般会計繰入金		
	人件費	(報酬等) (千円)		
	人	件費(千円)		
		正規		
人工		再任用(h31)		
八工		再任用(h26)		
		非常勤		

◇事未め消傷(1100) 重点我唱取於千及、1101, 他自我唱取於千及、1100, 坐不計画取於千及/									
主な事	業活動•事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No				
道路施設の適切な維持管理	1			_					
年度	H27	H28	H30	H31	H36				
目標値	_	_	_	_	_				
実績値	_								
主な事	業活動•事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No				
年度	H27	H28	H30	H31	H36				
目標値									
実績値									
主な事	業活動•事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No				
年度	H27	H28	H30	H31	H36				
目標値									
実績値									
主な事	業活動•事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No				
					·				
年度	H27	H28	H30	H31	H36				
目標値									
実績値									

平成28年度	(管理 03 04 01 01	番号) 02320000	(担当課) 道路保全課	(責任者) 森下 和市郎 平原	(作成日) 成 28 年 7 月 1 日
◇平成27年原	度の事業評	" 価			
·平成27年度 道路、地下道、			管理を行い、通行の安 全	と性、快適性を確保す	る。
·照明灯電気料 【JR浜松駅前/	科、水道料等 広場等維持 周辺施設利	・電気及び 管理】担当課	防災に係る設備保守点 南土木整備事務所 ・強適な空間を保ち、浜松	検業務委託、清掃業務	務委託
1 浜松駅原 ン、国道152号 2 浜松駅は	司辺の浜松県 ・地下横断道 比口広場地	i、東1号線の維 下道広告板等の	松駅南口広場、アクア- 持管理及び保全に関す)維持管理及び貸付け 土木整備事務所	「ること。	で地区のサンクンガーデ に関すること。
舞阪駅及びi (業務委託内容	遠州鉄道駅(字)		段利用者にとって快適な	空間を保ち、安全かっ	0円滑な通行を確保する。
事業の成場	果と課題				
指標の達成度					
<u>計画通</u> 道路、地下道、l		道路施設の管理	を行い、通行の安全性、は	R適性を確保している。	

・事業の改善と見直し

<u> </u>					
実施結果					1
大項目 現状 小項目 - /	事業費	現状	人工	現状	
道路利用者の安全で安心な通行のため現状確保が必要である。					
					4
今後の方向性					
大項目 現状 小項目 - /	事業費	現状	人工	現状	
引き続き、道路や道路付属物、地下道等、道路施設の管理を行い、安全で安	心な通行の	確保に努め	うる 。		
					١
					╛

・事業の分類 大分類 維持管理運営 細分類 施設管理運営(その他)

 平成28年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (作成日)

 03 04 01 01 02320000 02
 道路保全課
 森下 和市郎 平成 28 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 道路管理事業

◇事業目的・事業対象

安全で安心して生活できるよう、道路法令に基づき適正に管理する。

◇事業の概要

【法定受託】特殊車両通行許可申請に伴う審査事務を行う。

【法定受託】占用許可物件の登録・更新や占用料の納付状況の管理を行う。

【法定受託】認定・廃止・変更、道路区域の決定・供用開始等の手続きを行う。

【法定受託】公共用財産である道路等を適切に管理するための境界確定業務を行う。

【法定受託】異常気象等において(公財)日本道路交通情報センターへの通行規制情報を提供する。

【法定受託】静岡県道路通行規制情報管理・提供システムにより異常気象や道路工事等による

規制情報を提供をすることにより、情報の共有化を図る。

【法定受託】道路等の設置又は管理瑕疵に起因する事故が発生した際の賠償金支払いに関する業務を行う。

【自治事務】各土木整備事務所を通して道路愛護事業の啓発を図り、新たな参加団体を増やす。

【法定受託】平成27年度に実施した道路工事に伴う道路台帳の経年変化修正業務を実施する。

【自治事務】合併に伴う道路台帳整備水準の平準化を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
S27	_	一般会計	法定受託事務 自治事務(法令義務)	道路法	_	_	0

◇事業のコスト		H27	H28	
事業費(千月	TI)	予算	294,278	270,841
尹未貝(丁)	1)	決算	286,931	
		国•県支出		
		市債		
		その他	3,574	4,791
		一般財源	283,357	266,050
		一般会計繰入金		
	人件費	(報酬等)(千円)		
	人	件費(千円)	36,360	48,400
		正規	4.5	6.0
人工		再任用(h31)		1.0
人工		再任用(h26)	0.9	
		非常勤	0.9	1.0

▽尹未の旧保(1100. 生点我呵取修千皮、1101. 松口我呵取修千皮、1100. 坐不可凹取修千皮/										
	業活動·事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No					
道路里親団体の参加数	道路里親団体の参加数									
年度	H27	H28	H30	H31	H36					
目標値	60	60								
実績値	61									
主な事	事業活動・事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No					
街路樹愛護団体の参加数										
年度	H27	H28	H30	H31	H36					
目標値	45	43								
実績値	42									
主な事	業活動·事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No					
道路区域線図整備延長(km	1)									
年度	H27	H28	H30	H31	H36					
目標値	6,643	7,030								
実績値	6,643									
主な事	業活動·事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No					
年度	H27	H28	H30	H31	H36					
目標値										
実績値										

 平成28年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (作成日)

 03 04 01 01 02320000
 道路保全課
 森下 和市郎 平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【法定受託】特殊車両通行許可申請に伴う審査事務を行う。

【法定受託】占用許可物件の登録・更新や占用料の納付状況の管理を行う。

【法定受託】認定・廃止・変更、道路区域の決定・供用開始等の手続きを行う。

【法定受託】公共用財産である道路等を適切に管理するための境界確定業務を行う。

【法定受託】異常気象等において(公財)日本道路交通情報センターへの通行規制情報を提供する。

【法定受託】静岡県道路通行規制情報管理・提供システムにより異常気象や道路工事等による

規制情報を提供をすることにより、情報の共有化を図る。

【法定受託】道路等の設置又は管理瑕疵に起因する事故が発生した際の賠償金支払いに関する業務を行う。

【自治事務】各土木整備事務所を通して道路愛護事業の啓発を図り、新たな参加団体を増やす。

【法定受託】平成26年度に実施した道路工事に伴う道路台帳の経年変化修正業務を実施する。

【自治事務】合併に伴う道路台帳整備水準の平準化を行う。

事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・道路里親団体は新規に5団体加入した。(1団体減)目標を上回った。
- ・街路樹愛護団体は現状維持、新規加入はなかった。
- ・道路区域線図は目標どおり整備を行なった。

・事業の改善と見直し

実施結果									
大項目	改善	小項目	収集•分析	/		事業費	現状	人工	縮小
			啓発グッズを浜松 こより事務量の軽						
今後の方向性	•								
大項目	改善	小項目	収集•分析	/		事業費	現状	人工	現状
・引き続き道路愛護団体及び街路樹愛護団体の加入促進を促す。 ・道路里親団体H28年度4団体統合(その他1減) ・街路樹愛護会のなお一層の活動強化の検討を行う。 ・道路台帳整備水準の平準化を図るため道路区域線図の整備を進めていく。									

事業の分類

大分類	維持管理運営	細分類 施設管理運営(その他)

 平成28年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (作成日)

 03 04 01 01 02320000 03
 道路保全課
 森下 和市郎 平成 28 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 道路維持修繕事業

◇事業目的·事業対象

道路の安全で快適な通行のため、適正で持続的な維持修繕を行う。

◇事業の概要

道路施設の安全で安心な通行を確保するため、橋梁、舗装、トンネル等道路インフラ全般の維持修繕等を行う。また、道路の危険箇所を事前に点検し、災害発生を未然に防止するため、点検業務や道路パトロール等を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
S27	_	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第42条	_	_	0

◇事業のコスト			H27	H28
事業費(千月	TI)	予算	7,608,452	6,333,220
尹未頂(丁[1)	決算	7,376,885	
		国•県支出	1,506,150	1,348,100
		市債	689,200	832,100
		その他		405
		一般財源	5,181,535	4,152,615
		一般会計繰入金		
	人件費(報酬等)(千円)		
	人作	‡費(千円)	9,800	9,800
		正規	1.2	1.0
人工	再任用(h31)			
人工		再任用(h26)		
		非常勤	0.5	1.0

マデスの旧法(1100.主流					
	業活動•事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	里只欺哈垻日No
小規模事業要望の実施率(%)			_	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	100	100			100
実績値	82				
主な事	業活動·事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事	業活動·事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事	業活動·事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値	_				

◇平成27年度の事業評価
・平成27年度の事業の概要 道路施設の安全で安心な通行を確保するため、橋梁、舗装、トンネル等道路インフラ全般の維持修繕等を行う。
また、道路の危険箇所を事前に点検し、災害発生を未然に防止するため、点検業務や道路パトロール等を行う。
 ・国交付金事業[決算2,279,851千円(うち前年度繰越1,243,489千円)] ・国県道単独事業[決算2,459,301千円(うち前年度繰越608,899千円)] ・市道単独事業[決算2,637,733千円(うち前年度繰越152,471千円)]
指標の達成度
進んでいる 道路の安全で快適な通行のため、適正で持続的な維持修繕を実施している。
・事業の改善と見直し
実施結果 大項目 - / - 事業費 現状 人工 現状
道路利用者の安全で安心な通行のため現状確保が必要である。
今後の方向性
大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状 引き続き、道路の安全で快適な通行のため、適正で持続的な維持修繕の実施に努める。
·事業の分類
大分類 維持管理運営 細分類 施設管理運営(その他)

 平成28年度
 (管理番号)

 03 04 01 01 02320000

 (担当課)
 (責任者)
 (作成日)

 道路保全課
 森下 和市郎 平成 28 年 7 月 1 日

 平成28年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (作成日)

 03 04 01 01
 02320000 04
 道路保全課
 森下 和市郎 平成 28 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 道路防災事業

◇事業目的·事業対象

道路の安全で安心な通行を図り、災害発生を未然に防ぐため、道路防災工事等を計画的に実施する。

◇事業の概要

国県市道における、異常気象時等による災害発生を未然に防ぐため、道路防災工事を実施する。

- ・国交付金事業(国土交通省所管の交付金事業として施行している道路防災事業)
- ・市単独事業(市単独事業として施行している道路防災事業)

◇事業の性質

開始年	度 終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
S27	_	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第42条	_	_	_

◇事業のコスト			H27	H28
事業費(千月	TI)	予算	318,473	684,000
尹未頂(丁[1)	決算	459,699	
		国•県支出	89,368	165,500
		市債	84,800	245,800
		その他		
		一般財源	285,531	272,700
		一般会計繰入金		
	人件費(報酬等)(千円)		
	人作	‡費(千円)	8,400	10,600
		正規	1.2	1.0
人工	再任用(h31) 再任用(h26)			1.0
人工				
		非常勤		

主な事	業活動·事業成果			総合戦略施策体系	
道路防災事業実施箇所数(箇所)※計画策定	<u>?</u> 中		-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	_	_			_
実績値	_				
主な事	業活動・事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事	業活動・事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事	業活動·事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No
	·	·			·
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価
・平成27年度の事業の概要
国県市道における、異常気象時等による災害発生を未然に防ぐため、道路防災工事を実施する。 ・国交付金事業(国土交通省所管の交付金事業として施行している道路防災事業)[決算178,736千円(うち前年度繰越174,336千円)] ・市単独事業(市単独事業として施行している道路防災事業)[決算280,963千円(うち前年度繰越86,985千円)]
- 古来の代用 L = 用 晒
・事業の成果と課題 指標の達成度 不明 道路の安全で安心な通行を図り、災害発生を未然に防ぐため、道路防災工事を実施している。 道路防災工事の必要箇所が多数あるなか、限られた予算のなかで効果的かつ効率的に事業実施する必要があることから、 事業実施計画策定していく必要がある。
・事業の改善と見直し
実施結果 大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状 当初予算の内示があった箇所について、事業を行った。
今後の方向性 大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状 引き続き、道路の安全で安心な通行を図り、災害発生を未然に防ぐため、道路防災工事の計画的実施に努める。
・事業の分類
大分類 ハード整備 細分類 工事・整備(土木)

 平成28年度
 (管理番号)

 03 04 01 01 02320000

(担当課) (責任者) (作成日) 道路保全課 森下 和市郎 平成 28 年 7 月 1 日

 平成28年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (作成日)

 03 04 01 01 02320000 05
 道路保全課
 森下 和市郎 平成 28 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 橋りょう耐震補強事業

◇事業目的·事業対象

予想される南海トラフ地震など、大規模災害発生時の緊急輸送道路等を確保し、早期復旧と市民生活を守るため、橋梁の耐震補強対策工事等を計画的に実施する。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.92】

橋りょうの耐震性能の向上を図るため、耐震補強対策等を計画的に行う。

- ・国交付金事業(国土交通省所管の国庫補助事業として施行している橋りょう耐震補強事業)
- ・市単独事業(市単独事業として施行している橋りょう耐震補強事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
Н8	_	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第42条	_	0	0

◇事業のコスト			H27	H28
事業費(千	m)	予算	1,281,714	907,000
尹未貝(丁)		決算	922,063	
		国•県支出	395,840	513,500
		市債	374,300	372,100
		その他	8,000	
		一般財源	143,923	21,400
		一般会計繰入金		
	人件費(報酬等)(千円)		
	人华	‡費(千円)	8,400	21,000
		正規	1.2	3.0
人工	再任用(h31)			
人工		再任用(h26)		
		非常勤		

▽ 学来の旧様(1100. 重点			14211		
	業活動•事業成果			総合戦略施策体系	重点
緊急輸送路上の橋長15mに	上の橋梁の耐震	化率(%)		Ⅲ-3(1)イ	92
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	83	91	100		100
実績値	74				
主な事	業活動•事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事	業活動•事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事	業活動•事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度 。。。	(管理番号)		2当課)	(責任者)		(作成日)
03.0	4 01 01 02320000	道路	各保全課	森下 和市郎	平成 28	年 7 月 1 日
◇平成27年度の	事業評価					
・平成27年度の						
(うち前年度繰越3	他の向上を図るた。 国土交通省所管の 84,634千円)] 単独事業として施行	国庫補助事業。	として施行してい	る橋りょ う 耐震		[決算790,540千円 5前年度繰越5,000
・事業の成果と	課題					
指標の達成度	HT 162					
遅れている 予想される南海トラ 震補強対策工事等を 平成27年度計画進掘	計画的に実施して	いる。			と市民生活を	を守るため、橋梁の耐
・事業の改善と	見直し					
実施結果 大項目 現 予想される南海トラス 現状の確保が必要で	- 1 -	災害発生時の緊	/ 急輸送道路等を確	事業費		人工 現状 現状を守るため、最低限、
今後の方向性						
			/ 急輸送道路等を確	事業費 「保し、早期復旧		人工 現状 を守るため、引き続
·事業の分類						

細分類 工事・整備(土木)

大分類 ハード整備

亚式20年度	(管理番号)	(担当課)	(責任者)	(作成日)		
十八20十尺	03 04 01 01 02320000 05	道路保全課	森下 和市郎 平	² 成 28 年 7 月 1	日	

補助シート (事業名) 橋りょう耐震補強事業

◇事業工程表

于木	工性仪			
No.	H27	H28	H29	H30
	橋梁耐震化率83%	橋梁耐震化率91%	橋梁耐震化率95%	橋梁耐震化率100%
	(86/104橋)	(95/104橋)	(99/104橋)	(104/104橋)
	•			-
92				

 平成28年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (作成日)

 03 04 01 01 02320000 06
 道路保全課
 森下 和市郎 平成 28 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 過疎対策道路修繕事業

◇事業目的·事業対象

浜松市過疎地域自立促進計画に基づき、生活支援の一助となるよう過疎地域を対象とした道路修繕事業の推進 を図る。

◇事業の概要

市道単独費 橋梁修繕 2路線 舗装修繕 4路線

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
H28	_	一般会計	自治事務(法令義務)	過疎地域自立促進特別措置 法	_	_	0

◇事業のコスト			H27	H28
事業費(千月	ш)	万 算		80,000
尹未貝(丁)	1)	決算		
		国・県支出		
		市債		80,000
		その他		
		一般財源		
		一般会計繰入金		
	人件費	【(報酬等) (千円)		
	人	件費(千円)		7,000
		正規		1.0
人工		再任用(h31)		
人工		再任用(h26)		
		非常勤		

◇ 子來 • ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		業活動·事業成果			総合戦略施策体系	
完了路線数(路線)					_	
年度		H27	H28	H30	H31	H36
目標値			6			
実績値						
	主な事	業活動·事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度		H27	H28	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
	主な事	業活動·事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度		H27	H28	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
	主な事	業活動•事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度		H27	H28	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

平成28年度 (管理番号)	(担当課)	(責任者)	(作	成日)
一种 28年度 03 04 01 01 02320000	道路保全課	森下 和市郎	平成 28 年	7 月 1 日
◇平成27年度の事業評価				
- 平成27年度の事業の概要				
・ 事業の成果と課題 指標の達成度				
日本の定点は				
・事業の改善と見直し				
実施結果		± ₩ #		
大項目	/	事業費	人工	
今後の方向性 大項目 小項目 -	/	事業費	人工	
八块日	/	一		
・事業の分類				
大分類 ハード整備	細分類 工事・	整備(土木)		

 平成28年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (作成日)

 03 04 01 01 02320000
 07
 道路保全課
 森下 和市郎 平成 28 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 自転車等対策事業

◇事業目的•事業対象

JR浜松駅周辺地区や市街地中心部等における自転車等の放置防止により、良好な歩行空間の確保と駐車場の効率的な利用促進を図ることで安全で快適な都市環境を確保する。

◇事業の概要

【法令受託】JR浜松駅周辺地区及び市街地中心部を放置禁止区域(24ha)・放置規制区域(28ha)と定めて、区域内の歩道上等に放置された自転車等の警告・撤去を行う。

【法令受託】各自転車等駐車場に長期間放置された自転車等の指導・警告・撤去及び維持管理を行う。

※放置禁止区域・直ちに撤去、放置規制区域:2日後撤去

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
Н6	_	一般会計	法定受託事務 自治事務(その他)		_	_	0

◇事業のコスト			H27	H28
事業費(千月	т)	予算	41,760	50,296
尹未頁(丁[1)	決算	37,584	
		国•県支出		
		市債		
		その他	1,111	1,303
		一般財源	36,474	48,993
		一般会計繰入金		
		(報酬等) (千円)		
	人	件費(千円)	3,500	35,000
		正規	0.5	5.0
人工		再任用(h31)		
人工		再任用(h26)		
		非常勤		

主な事	業活動•事業成果		14211	総合戦略施策体系	
放置自転車撤去数(台)	- 木石功 子木/从木	11 13 (— 12 /		_	生
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	3,000	2.900		1101	1100
実績値	3,267	2,300			
	[[[[[[[] [] [] [] [] [] []	华堙(肖益)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No
	未心到"尹未以木	旧保(中位)		心口以哈厄尔伊尔	生点 Nu de la
駐輪場の収容台数(台)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	2,050	3,200			
実績値	3,060				
主な事	業活動•事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事	業活動·事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

亚虎鱼	(管理	里番号)	(担当課)	(責任者)		(作成日))
平成28年度	03 04 01 01	02320000	道路保全課	森下 和市郎	平成 28	年 7	月 1 日
◇平成27年月	度の事業詞	平価					
•平成27年度	の車業の	##					
		™女 辺地区及び市街地中≀	心部を协置埜止区は	t(24ha)•	目制区域(2	'8ha) 上定	めて 区域
		た自転車等の警告・), ilii 122 -34 (2	.011a/ C)C	W) C \ E-%
		主車場に長期間放置さ		導•警告•撤去	及び維持管	理を行う	0
※放置禁止区	域・直ちに	敵去、放置規制区域:	2日後撤去				
事業の成場	果と課題						
指標の達成度							
進んでし	<u> ハる</u>						
	:して、①ザナ	ザシティ浜松前54台⇒46	台増設②第一通り駅1	26台⇒127台增	設③遠州病	院前154台	⇒99台増
設。	11-454045 A	, 白 新 二 松 野 市 担 <i>t</i>	k/1100 7 1/# 四即#4\				
朱岙博物館東傳 今後、新浜松駅)自動二輪駐車場を新設 0台新設	(H28./.I				
	円頂灯でかりて						
<u>・ 事業の改</u>	<u>善と見直し</u>	,					
実施結果							
大項目	改善	小項目 収集・分析	• '	事業費	現状	人工	現状
		いて情報交換、対応を協		· 46-14-1			
		センター及び(一財)まち 場施策を視察した。	つくり公社と有料化可	能性について恵	見父撄した。	•	
「元進地・八工」	111 コロノ 耐工手間・	物肥果で忧寒した。					
 今後の方向性							
大項目		小百日 ID 隹 - 八+	- / 亚米老丹+	口 車業弗	+d-+	1 -	IE/作
	改善 あ <i>た</i> は かせ	小項目 収集・分材 用地の確保が難しいの			拡大	人工 理笑を担思	現状
・駐鴨场登佣に 対策を強化して		円地の唯体が無しいの	し、処け紅粣场の登1個	#及び官理に ル	・しむ相足官	埋守で倪野	ゖヽハルし
		料化に向けて、関係機関	等に意見を聞き導入の	の可否について名	分析していく	5	
事業の分類							

細分類 施設管理運営(その他)

大分類

維持管理運営

 平成28年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (作成日)

 03 04 01 01 02320000 08
 道路保全課
 森下 和市郎 平成 28 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 地籍調査事業

◇事業目的·事業対象

地籍調査事業では一筆ごとの土地について、所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、その結果を地図(地籍図)及び簿冊(地籍簿)に作成し、地籍の明確化を図る。

◇事業の概要

事業は1地区概ね3年で完了するよう進めており、着手から完了までは以下のような工程に分かれる。

- ・国家基準点を基に調査区域付近に基準点を設置・測量する(C/D工程)。
- ・調査地区の土地登記簿、公図等を調査し、資料を作成する(E1工程)。
- ・土地所有者に境界立会い(確認)を行ってもらう(E2工程)。
- ・基準点を基に一筆ごとの境界の測量を行い、土地の境界を示す図面を作成する(F工程)。
- ・一筆ごとの面積を計算する(G工程)。
- ・調査の成果(地籍図及び地籍簿)を閲覧に供し、承諾を得る(H工程)。
- ・国の承認及び県の認証を受けた後、成果の写しを法務局へ送付する。
- ・中区野口町の細部測量、面積測定の実施
- ・北区引佐町伊平の一筆地調査の実施
- ・地籍整備推進調査費補助金制度による民間事業者等への支援
- ・2地区(西区篠原町、天竜区春野町気田)の閲覧・認証請求の実施。1地区(天竜区龍山町大嶺)の認証請求の実施 ・・市内全域の成果の修正業務

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
S28	_	一般会計	自治事務	国土調査法,国土調査促進特 別措置法	_	_	0

◇事業のコスト		H27	H28	
事業費(千月	TI)	予算	19,812	22,169
尹未頁(丁[3)	決算	18,349	
		国・県支出	5,808	8,100
		市債		
		その他	9	21
		一般財源	12,532	14,048
		一般会計繰入金		
	人件費	(報酬等)(千円)		
	人	件費(千円)	62,400	55,400
		正規	8.0	7.0
人工		再任用(h31)	1.0	1.0
人工		再任用(h26)		
		非常勤	1.0	1.0

▽事業の旧様(100.重			14X112 1 /2 () 100		
	·事業活動·事業成果			総合戦略施策体系	里点颗略垻日No
	!籍調査事業計画よ	り(H27~36で186	ha)	_	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	7	9			186
実績値	3				
主な	\$事業活動·事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な	\$事業活動·事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な	¥事業活動·事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No
			·		
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

 平成28年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (作成日)

 03 04 01 01 02320000
 道路保全課
 森下 和市郎 平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

事業は1地区概ね3年で完了するよう進めており、着手から完了までは以下のような工程に分かれる。

- ・国家基準点を基に調査区域付近に基準点を設置・測量する(C/D工程)。
- ・調査地区の土地登記簿、公図等を調査し、資料を作成する(E1工程)。
- ・土地所有者に境界立会い(確認)を行ってもらう(E2工程)。
- ・基準点を基に一筆ごとの境界の測量を行い、土地の境界を示す図面を作成する(F工程)。
- ・一筆ごとの面積を計算する(G工程)。
- ・調査の成果(地籍図及び地籍簿)を閲覧に供し、承諾を得る(H工程)。
- ・国の承認及び県の認証を受けた後、成果の写しを法務局へ送付する。
- ・中区野口町の多角測量、一筆地調査の実施
- ・地籍整備推進調査費補助金制度による民間事業者2者への支援
- 2補助地区(中区野口町、北区細江町気賀)の認証請求の実施
- ・2任意地区(西区篠原町、天竜区佐久間町城西)の認証請求の実施。1任意地区(天竜区龍山町大嶺)の閲覧の実施
- 市内全域の成果の修正業務

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

- ・平成27年度は、中区野口町と北区引佐町伊平の2地区を補助要望したが、国の補助金が減額されたため、北区引佐町伊平については補助採択されなかった。このため、目標7haに対して3haとなった。
- ・中区野口町の2地区目(0.11km)について多角点測量、一筆地調査を実施した。
- ・平成25年度に着手した野口町の一部(0.11km)、北区細江町気賀(0.06km)について、認証請求後法務局へ送付した。
- ・補助事業以外の地区としては、西区篠原町の一部(0.10km)、天竜区佐久間町城西(0.06km)について、認証請求した。また、 天竜区龍山町(0.08km)について閲覧を実施した。
- ・平成26年度までは、補助要望すれば100%予算が確保できたが、平成27年度から採択要件が厳しくなり予算の確保が難しくなってきた。今後は、国、県に浜松市の実情を理解して頂き、津波等の災害の面からも地籍調査補助金を確保できるよう努めていく。

・事業の改善と見直し

一 学未の以告と元直し	
実施結果	
大項目 改善 小項目 国・県補助金 /	事業費 現状 人工 現状
・地籍整備推進調査費補助金を平成27年度に制定し、地籍整備推進調	
第5項指定申請を通じて測量成果を地籍情報として整備する際の経費を	を補助した。
今後の方向性	
大項目 改善 小項目 国•県補助金 / 一部委	託 事業費 現状 人工 現状
・法改正により、今まで市職員が担当していた工程管理や検査も含めて	作業を一括して法人に委託することが可能となったた
め、平成28年度から北区引佐町伊平地区において、国土調査法第10条	
の作業量が軽減され、補助対象地区以外の調査に力を注ぐことが出来	る。

・事業の分類

神刀 規 加力 発加

亚母加生	(管理番号)	(担当課)	(責任者)	(作成日)	
平成28年度	03.04.01.01.02320000.09	道路保全理	奔下 和市郎 平成	28 年 7 日 1	F

事業シート (事業名) 道路保全運営経費(一般諸経費のみ)

77		(-1->					₩± > ₹ ♥	,		
◇事業目	的·事業対	才象								
適正な道路	各管理を推済	進するための)運営経費							
A										
<u>◇事業の</u>	概要									
△ 古 幸 か	사사 55									
◇事業の								総合	重点	主要
開始年度	終了予定	会計区分	事務	区分	根拠法	令等		戦略	戦略	事業
		60 A =1						72/54	TX-1	于本
_	_	一般会計						_	_	
◇事業の	コスト			·			H27		H28	3
				予算			1127		1120	
争	業費(千円))		決算						
				国・県支战	出					
				市債						
				その他	=					
				一般財源一般会計繰						
		人 件 書 (幸	设酬等)(千		八亚					
			費(千円)	1 1/						
		7 411		正規						
人二	_			·用(h31)						
人	_			用(h26)						
			非	常勤						
◇事業の	指標(H30	:重点戦略	最終年度.	、H31:総合	戦略最終年度	, H36	:基本言		(年度)	
		主な事業活動	カ・事業成果	指標(単位)			総合戦略	施策体系	重点戦略	各項目No
								_		
	年度		H27	H28	H30		Н	31	H	36
	目標値									
	実績値	十八古光 江毛	L + * + + H	151年(光 14)			6/1 △ № m &	ナケケムを	壬上兴四	7 т Б □ №
		主な事業活動	」 事未以未	拍惊(甲型)			総合製船	他束体糸	重点戦略	合垻日 No
	年度		H27	H28	H30		U	31	U-	36
	 目標値		1127	1120	1130		"	01	110	30
	実績値									
		主な事業活動	カ∙事業成果	指標(単位)			総合戦略	施策体系	重点戦略	各項目No
	年度		H27	H28	H30		Н	31	H:	36
	目標値									
	実績値									
		主な事業活動	カ・事業成果	指標(単位)			総合戦略	施策体系	重点戦略	各項目No

年度

目標値 実績値 H27

H28

H30

H31

H36

Ti chook #	(管理番号)	(担当課)	(責任者)		(作成日)	
平成28年度 03 (04 01 01 02320000	道路保全課	森下 和市郎	平成 28		1 日
◇平成27年度 <i>0</i>)事業評価					
• 平成27年度の	事業の概要					
1 10021 1 1000	<u> </u>					
<u>・事業の成果と</u>	∶ 課題					
指標の達成度						
声类のルギリ	. 日本 !					
・事業の改善と 実施結果	「兄旦し					
大項目	小項目	/	事業費		人工	
A 46 - 1 4 14						
今後の方向性	AN TE F	,	事業費			
大項目	小項目	/	争未貸		人工	
- 事業の分類						
	Mr. T. E. L. T.	√	=+ /m #			
大分類	管理•監視	細分類 運営経費(諸経費のみ)			

平成28年度(管理番号)(担当課)(責任者)(作成日)03 04 01 02 02331000河川課松島 康浩 平成 28 年 7 月 1 日

政策シート

(政策名) 効率的な道路・河川管理

(予算費目名) 河川費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・安全で安心して生活できるよう道路や河川が適正に管理され、災害のない都市を実現する。

- ①ポンプ施設の適切な管理
- ②市民協働による河川愛護活動の支援
- ③市民への防災情報の取得・発信(履歴や危険度、最新の即時情報)
- ④河川、排水路の効率的な維持修繕(予防保全型の維持管理、長寿命化)

◇政策のコスト(千円)	H27	H28
予算	846,371	1,009,141
決算	843,338	
人件費(A)	20,680	25,960
報酬(B)	2,791	2,791
年間経費(予算又は決算+A+B)	866,809	1,037,892

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
ポンプ場長寿命化計画の策定	計画	1	目標	1	0
		•	実績	1	
維持管理計画・実行計画の策定 (河川種	計画	4	目標	1	2
別ごと)	前凹	4	実績	1	
ポンプ場機能停止日数	В	0	目標	0	0
		U	宝 績	0	

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

- ・安全で安心して生活できるよう道路や河川が適正に管理され、災害のない都市を実現する。
- ①ポンプ施設の適切な管理
- ②市民協働による河川愛護活動の支援
- ③市民への防災情報の取得・発信(履歴や危険度、最新の即時情報)
- ④河川、排水路の効率的な維持修繕(予防保全型の維持管理、長寿命化)

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<u>く進捗></u> 計画通り

- ・ポンプ場長寿命化計画を策定
- ・市管理二級河川の維持管理計画・実行計画を策定

◇政策実現のために実施する事業一覧

✓以	策実現のために実施する事				_	コスト	事業費		人	エ		報酬
	事業名	総合戦略	点戦略	主要事業	元了	(千円)	(千円)	正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	(千円)
1	河川管理対策事業	0		0		329,902	310,251	2.1	0.6			2,791
2	河川維持修繕事業	0		0		707,990	698,890	1.3				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
	計		0.1			1,037,892		3.4	0.6			2,791

 平成28年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (作成日)

 03 04 01 02 02331000 01
 河川課
 松島 康浩 平成 28 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 河川管理対策事業

◇事業目的・事業対象

- 河川や河川施設の適正な維持管理、防災情報の取得・発信
- ①ポンプ施設の適切な管理により、浸水被害を軽減する。
- ②市民協働による河川愛護活動の支援により、良好な河川環境を保全する。
- ③市民への防災情報の取得・発信(履歴や危険度、最新の即時情報)により、迅速な対応と避難支援を図る。

◇事業の概要

◆ポンプ場等維持管理事業

- 集中豪雨等による浸水被害を防ぐために、ポンプ場の適正な維持管理を行う。
- ◆河川愛護支援事業
- ・河川の清掃・除草活動を行う団体に対し支援を行う。
- ◆ハザードマップ作成事業
- ・洪水時の避難への備えとして洪水ハザードマップを作成し、市民公表・配布する。
- ◆土木防災情報システム運営事業
- ・雨量・水位・気象情報と河川の映像などの土木防災情報を即時に取得し、雨量規制や道路冠水などへの対応 の迅速化を図り、同時に市民へ発信することで避難行動を支援する。
- ◆河川管理·占用事業
- ◆河川台帳整備事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
		一般会計	自治事務	河川法	0	_	0

◇事業のコスト			H27	H28
事業費(千月	TI)	予算	268,371	310,251
尹未貝(丁[3 /	決算	227,279	
		国•県支出	6,896	7,492
		市債		
		その他		510
一般財源			220,383	302,249
		一般会計繰入金		
	人件費	(報酬等)(千円)	2,791	2,791
	人	件費(千円)	10,180	16,860
		正規	1.3	2.1
人工		再任用(h31)	0.3	0.6
人工		再任用(h26)		
		非常勤		

_◇事术》沿际(1100. 重点我唱取帐干及、1101. 1160 日我唱取帐干及、1100. 全不引出取帐干及/									
主な事	業活動•事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No				
ポンプ場長寿命化計画の策	定(計画)			Ⅲ-3(1)イ					
年度	H27	H28	H30	H31	H36				
目標値	1	0	0		0				
実績値	1								
主な事	業活動•事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No				
ポンプ場の機能停止日数(3)			_					
年度	H27	H28	H30	H31	H36				
目標値	0	0	0		0				
実績値	0								
主な事	業活動•事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No				
準用河川台帳整備延長(km	1)			_					
年度	H27	H28	H30	H31	H36				
目標値	174								
実績値	174								
主な事	業活動•事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No				
河川一般平面図整備面積(k m 1)			_					
年度	H27	H28	H30	H31	H36				
目標値	1,558								
実績値	1,558								

平成28年度		理番号)		(担当課)			£者)			(作成E		
1 /2/20 1 /2	03 04 01 02	02331000		河川課		松島	康浩	平成	28	年 7	月	1 日
◇平成27年	度の事業	评価										
•平成27年月	まの事業の	概要										
◆ポンプ場等			227,279千1	円(うち前	年度繰越	6,642	2千円]					
•集中豪雨等		被害を防ぐた	:めに、ポン	プ場の適	正な維持	管理を	·行 う 。					
◆河川愛護		- /- > /- /- /- /- /- /- /- /- /- /- /- /- /-	111 + 157 + 1	<i>z</i> – ~								
・河川の清掃 ◆ハザードマ			対し文援を	行つ。								
▼ハリートマ・洪水時の避			、ザードマッ	プを作成	1. 市民公	表∙西	布する					
◆土木防災性				<i>y</i> E 11 /30	01111111	, 24 H	2 112 7 4	20				
•雨量•水位•							、雨量	規制や記	直路記	団水など	ごへの	対応
の迅速化を図		市民へ発信す	することで避	難行動を	支援する	0						
◆河川管理· ◆河川台帳塾												
	至佣尹未											
事業の成	果と課題											
指標の達成原												
計画:												
・ポンプ場長寿				よ点検によ	り不具合の	2早期	発見と修	§繕が行	わた。			
•二級河川釣棉	喬川の洪水ハ	ザードマップを	作成した。									
・事業の改	基と見直											
実施結果	<u></u>											
大項目	現状	小項目	-	/	-	事	業費	現状		人工	現物	犬
ポンプ場は適切	刃に維持管理	が行われた。										
今後の方向性	 生											
大項目		小項目	ICT化	/	_	a	業費	拡大		人工	拡え	
ポンプ場長寿	命化計画に	基づく設備更新	fに着手する									•
•土木防災情報					ミにシステム	ムを再	構築して	市民への)情報	発信を	行う。	
・車業の公粨	i											

細分類 施設管理運営(その他)

大分類

維持管理運営

 平成28年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (作成日)

 03 04 01 02
 02331000 02
 河川課
 松島 康浩 平成 28 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 河川維持修繕事業

◇事業目的•事業対象

河川・排水路の維持修繕

④河川、排水路の効率的な維持修繕(予防保全型の維持管理、長寿命化)により、コスト縮減と適正管理を両立する。

◇事業の概要

◆河川·排水路維持修繕事業

- ・河川・排水路の機能保全のため、堤防・護岸・樋門等河川管理施設の定期的な点検と必要な維持修繕を実施する。
- ◆安全保護柵設置·修繕事業
- ・河川堤防通行の安全確保のための安全保護柵の設置・修繕工事等を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
		一般会計	自治事務	河川法	0	_	0

◇事業のコスト		H27	H28	
事業費(千円)		予算	578,000	698,890
尹未頂(丁[1)	決算	616,059	
		国•県支出		
		市債		
		その他		
		一般財源	616,059	698,890
		一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)		報酬等)(千円)		
	人华	‡費(千円)	10,500	9,100
		正規	1.5	1.3
人工		再任用(h31)		
人工	再任用(h26)			
		非常勤		

▽事未の指示(100.至点状間取於十及、101.心口状間取於十及、100.至不可固取於十及)									
	業活動•事業成果			総合戦略施策体系	重点戦略項目No				
維持管理計画・実行計画の	策定 (河川種別	ごと)		_					
年度	H27	H28	H30	H31	H36				
目標値	1	2	4						
実績値	1								
主な事	業活動•事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No				
自分の生命と財産は自分で	守らなくてはなら	ないと思う人の割	合(%)	Ⅲ-1(1)イ					
年度	H27	H28	H30	H31	H36				
目標値	77.0	78		80					
実績値	77.5								
主な事	業活動•事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No				
年度	H27	H28	H30	H31	H36				
目標値									
実績値									
主な事	業活動•事業成果	指標(単位)		総合戦略施策体系	重点戦略項目No				
年度	H27	H28	H30	H31	H36				
目標値									
実績値									

平成28年度	(管理		(担当課)	(責任者)		(作成日)	
7 774-5 7 72	03 04 01 02	02331000	河川課	松島 康浩	平成 28	年 7 月	1 日
◇平成27年月	度の事業評	価					
・平成27年度	の重業の#						
◆河川・排水路・河川・排水路 する。 ◆安全保護柵	格維持修繕事 の機能保全 設置・修繕事	事業 [決算 616,059- のため、堤防・護岸・십		め定期的なが	点検と必要フ	な維持修繕を見	尾施
・事業の成							
指標の達成度							
計画通		中に計画の第字した					
・ 一 秋 沖 川 ひノ 作	持官理計画。	実行計画の策定した。					
・事業の改	盖と見直し						
実施結果	<u> </u>						
大項目 ・河川・排水路の ・小規模要望に対	幾能保全のため	小項目 - っ、堤防・護岸・樋門等河川管 善を実施した。	/ 管理施設の定期的な点核	事業費食と必要な維持修		人工 現状 。	
今後の方向性							
大項目	現状	小項目 -	/	事業費	現状	人工 縮小	
	り機能保全の	ため、堤防・護岸・樋門等	河川管理施設の定期	的な点検と必	要な維持修約	善を効率的に実施	施す
る。 ・準用河川ほか	中小河川の維	持管理計画・実行計画の	の策定する。				
•事業の分類							
大分類	ハード整備	細分類	五事・整備(設備)			